

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回児童発達支援センター設置検討委員会
開 催 日 時	令和元年12月24日(火) 午後1時15分 開会、午後2時45分 閉会
開 催 場 所	市庁舎 5階 全員協議会室
座 長 氏 名	並木範一
出席委員(者)氏名	並木範一、桑野恵介、新井真由美、後藤 博、細川大輔、植竹利之、 桂川泰典、齋藤玲
欠席委員(者)氏名	越智恵子、白木久美子、海老沢小真紀、尾上昌弘
説明者の職氏名	副参事 中村正幸
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 座長あいさつ 3 部長あいさつ 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童発達支援センターの開設について (2) 受託事業者の決定について (3) 児童発達支援センター運営協議会の設置について (4) その他 5 事務連絡 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市児童発達支援センター開設について(資料1) ・児童発達支援センター事業(業務委託)の受託事業者の決定について(資料2) ・入間市児童発達支援センター運営協議会の設置について(案)(資料3) ・入間市児童発達支援センター事業計画 ・令和元年度第1回児童発達支援センター設置検討委員会会議録
関係課職員氏名	<p>【障害者支援課】主任 金本忠至</p> <p>【こども支援課】利用者支援専門員 橋本綾子</p> <p>【保育幼稚園課】主任 浅川富士子</p> <p>【地域保健課】主幹 吉川真奈美</p>

	【学校教育課】（こども未来室）副参事 小田誠
事務局職員職氏名	【子ども支援部】部長 原嶋裕子、次長 佐藤政史 【こども支援課】課長 横田一洋、副参事 中村正幸、 副主幹 粕谷淳子、副主幹 澤田典子
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 下記の議題について事務局から説明し、意見交換を行った。

委員からの質疑については、事務局が回答した。

- (1) 児童発達支援センターの開設について
- (2) 受託事業者の決定について
- (3) 児童発達支援センター運営協議会の設置について
- (4) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>並木座長 原嶋部長 司会</p>	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) (座長あいさつ) (部長あいさつ) (議題について説明) これより議事に移りますが、入間市児童発達支援センター設置検討委員会要綱第5条第1項の規定によりまして並木座長に議事を進行していただきます。</p>
<p>並木座長</p>	<p>会議がスムーズに運営されますようご協力お願いいたします。 本日は8名の委員に出席をいただいておりますので、設置検討委員会要綱第5条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立しております。 次に、本日の会議録に署名を頂く委員は、名簿順で桂川委員にお願いいたします。 続きまして、傍聴人がありましたら、入室をお願いします。 (傍聴人入室)</p>
<p>並木座長 事務局</p>	<p>注意事項について、事務局から説明をお願いいたします。 先ほどお渡しした遵守事項を遵守していただきますようお願いいたします。守られない場合は退席していただきますのでご了承願います。</p>
<p>並木座長</p>	<p>議題に入ります。議題1、児童発達支援センターの開設について、事務局から説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料1を用いて説明</p>
<p>並木座長 新井委員</p>	<p>概要の説明をいただいたが、質問等いかがですか。 相談支援事業について、入間市は既に「りぼん」の相談窓口があるが、両者の連携について、棲み分けや役割分担はどのようにしていくのか、見通しについてお聞かせ下さい。</p>
<p>事務局</p>	<p>埼玉県では18歳未満は新都心の発達障害者支援センター、19歳以上は川越市のまほろばと対象年齢で分け棲み分けています。 「りぼん」は、お子さんから大人の方まで対応する窓口です。児童発達支援センターでは子どもの発達に関する相談に対応していきますが、障害のある子どもの相談は、子育てや保健など様々な部門で受け付けていますので、りぼん等で受け付けた相談のうち、内容に応じて児童発達支援センターにつないでいただき、柔軟に対応し支援していきます。今後相談支援事業所と受託事業者を交え、使い分けについて相談し検討していきます。児童発達支援センターが全てに対応していくことは難しいため地域の中で協力連携し支援体制を作っていきたいと思えます。</p>
<p>並木座長</p>	<p>相談支援の役割として、業務分担や棲み分けについて今後相談されていくということだが、誰と、いつまでに、こういった形で相談されるのか見通しがあればお知らせ下さい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	地域の相談事業所が、問題と認識していること等について、とりまとめをしている基幹相談支援センターも含め、今後打ち合わせを行い、相談者をうまく支援していけるようにコネクションを築きたいと思います。
並木座長	障害者の「自立支援協議会子ども部会」の中で市内には様々な相談窓口があり、何らかの理由で周知が広がっていないことやそれぞれの役割分担が十分に整備されていないこと、市民が相談者に繋がっていない状況がある。窓口が出来れば良いのではない。役割の周知や関係機関との連携が不十分であると、センターが十分に機能しないため、ぜひ具体的な動きとして取り組んでいただきたい。その他いかがですか。
細川委員	児童発達支援の定員以上に利用希望者があった場合、対応策はどのようにするのでしょうか。
事務局	記載にある定員数は、1日あたりの定員数です。週1～2回通所利用する方が多いので、延べ人数で受け入れ可能な人数は記載より多くなります。
並木座長	その他いかがですか。
細川委員	元気キッズを利用しながら保育園に通う児童に関する情報交換は引き続き行われるのでしょうか
事務局	現状行っている事業を大きく変えることはせずに、受託事業者の専門性を活かしていく考えです。
並木座長	現状の「元気キッズ」の体制と比較して素朴な疑問で結構です。その他、なにかありますか。皆さんのご意見が反映された事業概要になっていますか。
並木座長	相談支援事業の中に指導主事の配置の記載がありますが、指導主事の役割に対するイメージをお聞かせ下さい。
事務局	指導主事は教職員です。かねてから福祉を担当する部門と教育を担当する部門の連携が課題とされています。日野市では同じフロアに教育と福祉を配置し、連携から一歩進めた一体的支援の窓口になっていました。入間市はハードウェア的に同じ場所に配置することが難しかったため、人の配置で一体的な体制を目指したものです。学齢期は指導主事が相談対応し、内容によっては教育センターや学校の対応につないでいきます。指導主事には相談を整理して教育現場との調整をスムーズに進める役割を担っていただきたいと考えています。
並木座長	<p>教育と福祉の一体がセンターの特徴かと思う。ぜひ、市民にとって有意義な体制になるよう整備をお願いします。</p> <p>支援者から学校に関することについて相談したいという場合、支援者から指導主事に相談することもあるのでしょうか。あるいは放課後等デイサービス事業所又は相談支援専門員に関わりがある方が学校に通われている場合、対応等について直接学校に相談することや指導主事の方に相談することは可能ですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	相談の内容を伺い、内容に応じて適切につなげていきます。直接学校と話していただくことを助言する場合もあると考えます。
並木座長 齊藤委員	その他いかがでしょうか。 相談支援事業に関して時間外の相談受付はどのような形になるのか。予約制ですか。時間については何時から何時までを想定していますか。
事務局	月1回、午後7時までの時間外相談を考えています。 時間外相談実施のお知らせをし、できれば電話で申し込んでいただければと思いますが、予約すること自体が精神的なハードルになる方もいるため、様子を見ながら運営していきたいと考えております。
並木座長	その他いかがでしょうか。なければ次の議題に移ります。 続きましては、議題（2）受託事業者の決定について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	資料2に基づき説明
並木座長 桂川委員	受託事業者の決定について質問等ありましたらお願いいたします。 業務委託の期間は5年ということだが、5年終了後の方針や方法については再度公募するのか、継続的に評価していくのですか。
事務局	4年目から5年目で事業者選定方針を検討したいと考えます。
桂川委員	現時点において方針・方法は未定であり、今後運営協議会などに諮るということですか。
事務局	次期児童発達支援センター事業計画も含め、運営協議会で検討していただきます。
桂川委員	事業者の決定について選定のプロセスはどのようになるのですか。今日の設置委員会で決定するのですか。
事務局	事業者の選定は市が行います。本日の議題は報告事項となります。
桂川委員	良い事業者を選定できたと考えますが、今後の運営に、様々な視点が入ることが大事と考えるので、運営協議会などで検討できるようにしていただきたいと思います。
並木座長	センターの指揮系統は、受託事業者所属のスタッフを含めて統括するセンター長となる方がいるのですか。
事務局	センター長は、こども支援課長兼任での配置を考えています。市職員は組織の中で指揮しますが、受託事業者のスタッフを直接指揮監督することはできないので、仕様書に沿って取り組んでいただきます。地域支援や基本的な相談についても連携協力いただくことを仕様としています。受託事業者とは、代表者や現場責任者と調整しながら運営していきます。
並木座長	事業者の選定理由や評価した部分を差し支えない範囲で教えてください。
事務局	事業者の選定では15の項目で評価を行いました。ほとんどの項目で評価は互角となりましたが、療育の質の確保や向上に対する工夫で高く評価されました。経験の乏しいスタッフであっても一定レベルの療育が行えるようマ

発 言 者	発 言 内 容
並木座長 事務局	<p>ニュアルを整備するなどのしくみがあり、特に子どもを支援する専門性の高さが評価されました。</p> <p>人間市としてそうしたところを重要視したということでしょうか。</p> <p>項目ごとの評価では応募者それぞれ長所があり、次点となった応募者が高評価となった項目もありました。結果的に評価点の合計が高かった応募者を選定しました。</p>
並木座長 事務局	<p>センターとして、直接的支援、コーディネート機能、地域の体制作りも求められるところと思う。受託事業者は現在も支援に取り組んでいますし、地域への働きかけも行っていると思います。ぜひ地域の中で遺憾なく発揮してほしいと思います。</p> <p>議題（3）児童発達支援センター運営協議会の設置について、事務局からお願いいたします。</p>
事務局 並木座長	<p>資料3を用いて説明</p> <p>児童発達支援センター運営協議会の設置について説明がありましたが、この点について質問はありますか。</p>
並木座長 事務局	<p>設置検討委員の皆さんにも打診等あるかと思えます。ぜひ最後までご協力をお願いいたします。議題4その他について、事務局からなにかありますか。</p> <p>児童発達支援センターの愛称を募集することについて、ご意見をうかがいたい。これまでの議論では、敷居の低い親しみやすい窓口であるべき等の意見がありました。通所事業の名称としては「元気キッズ」は15年の実績があり、市民に浸透しているので、引き続き使用していきたいが、相談や地域支援を含めた児童発達支援センター全体の愛称について、いかがお考えでしょうか。</p>
並木座長 事務局 並木座長	<p>委員の皆さんに愛称を付けた方が良いかどうか意見を伺うのですか。</p> <p>募集方法や様々な方法やアイデアをいただければと思います。</p> <p>この点についていかがですか。愛称があった方が良いという前提で意見がある方はいますか。方法等について事務局の考えはありますか。</p>
事務局	<p>元気キッズ利用者や保育所幼稚園、その他の事業所や特別支援学校へのチラシ配布と市報記事での募集を行い、4月までに選定できたらと考えております。</p>
並木座長 後藤委員	<p>愛称について、特別支援学校に相談し募集するとのことですが、ほかに何かアイデアがあればお願いしたい。後藤委員いかがですか。</p> <p>決め方は今の内容で良いと思います。名称について相談支援や児童発達支援などいろんなことを事業として行っていくので、一つに偏らないイメージで呼びやすいものが良いと思います。同列に並べることはできないが、博物館「アリット」は親しみを持たれているので、そのようなイメージの名称が付くと良いのではないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
並木座長 植竹委員	<p>その他、植竹委員いかがですか。</p> <p>親しみのある愛称はあった方が良くと思います。応募の仕方はいろいろですが、愛称で呼べるようになるとよいと思います。</p>
並木座長	<p>愛称はつけた方がよいのではないかと、親しみやすい、広く偏らない愛称を、公募することとして事務局の方で考えていただくということによろしいですか。</p>
新井委員	<p>公募することも普及啓発になります。お知らせとしての意味合いもあるので公募の方法がよろしいと思います。</p>
並木座長	<p>事務局で検討され、良い愛称が付くように取り組んでいただきたいと思います。今回が児童発達支援センター設置検討委員会は最後の会となります。お一人ずつ感想をお願いします。</p>
桂川委員	<p>開設の概要全体像を改めて拝見して、これから運用の細かいところで課題点は多くあると思いますが、大きな枠組みであるとか、理念については他市に負けない有意義なものになったと思います。予算や人員等難しい制約がある中、市の方で取りまとめていただき改めて感謝申し上げます。</p>
齊藤委員	<p>自立支援協議会から参加し、児童発達支援センターがこうであって欲しいという思いで参加しました。今後子どもたちがよりよく成長できるようになれば良いと思います。有難うございました。</p>
植竹委員	<p>保育園の方から参加させていただきました。いろいろな子どもがいる中、保護者と保育士が話しやすいように配慮することも大事だし、相談のつなぎ先として児童発達支援センターを活用していくことも大事と思います。</p> <p>それぞれの連携や信頼関係の中で、子どもたちの課題に早期に気づき、相談できる児童発達支援センターとなることを期待しています。</p>
細川委員	<p>前回から参加させていただきました。センター設立に関し疑問点等、質問させていただきました。まだ幼稚園協議会もセンターに対して漠然としたイメージしかないので、持ち帰り周知したい。元気キッズとの連携で現場では助かっている。切れ目なく一貫した支援を行うセンターにしていきたい、現場を支援していただきたいと思います。</p>
新井委員	<p>支援学校の代表として参加しました。視察にも同行し、センター設置に向け毎回丁寧に議論が進められたと思います。いよいよ形になり、今後は実践となっていく中で、中心となるセンターと思うので、連携を進めていただきたいと思います。</p>
後藤委員	<p>小学校校長会から参加しました。学校の中だけでは支援が済まない、範囲を超えていることがたくさんあります。子ども支援課や放課後等デイサービスの療育に携わっている方や医療関係の方、様々な方と連携しながら子どもの支援を考えていかなければならないということを強く思っています。</p> <p>入間市では子ども未来室事業で幼児から一貫した支援に取り組んでいますが、児童発達支援センターが設置されることで支援が更に強化され、連携を</p>

発 言 者	発 言 内 容
桑野委員	<p>図りながら子どもたちの成長を見守り支援していくことが可能になると期待しています。様々な立場の方の意見を伺い非常に勉強させていただきました。</p> <p>様々な立場の委員から意見がありましたが、発達に個性がある子どもや親に対して、利用者視点での質の高さ、切れ目のない支援は、委員の立場を超え一貫して共有された価値観、方向性だったと感じています。「設置検討委員会意見のまとめ」は、そうした大事な部分が根底に流れている文書となっており、感銘を受けました。</p> <p>私自身は国立障害者リハビリテーションセンター秩父学園で11年間仕事をし、国内外の療育の知見を吸収してきました。退職後はそれを地域に広げていくことを目指しています。ここで話し合われた内容は、私の考える支援の方向性とも一致しています。</p> <p>今後事業を運営するにあたって、実行することと目指すこととは別物であると思っています。センターが拠点として機能することにより、地域全体の子育て力が底上げされることが必要です。それにはいろいろな機関と連携協力が必要になります。今後ともよろしくお願いします。</p>
並木座長	<p>基幹相談支援センターで市から委託を受けた業務に取り組んでいます。障害の有る無しに関わらず地域で安心して暮らしていける地域づくりが業務の目的です。今回はそのような立場から当事者の目線で伝えさせていただいた。関わりの中で困難さを感じるのは、重症心身障害児、医療的ケア児、家庭に課題があり本人に十分な支援が届かないような家庭が、地域の中で支援につながりにくい人達と認識しています。日中一時支援の中にも重症心身障害児の対応があり、相談支援についても、指導主事の方も入り広く市民の相談にのる体制を用意していただきました。しかし、体制を整えただけでは機能が十分に発揮されるわけではないと思います。地域の協力、連携、繋がり等、進んでいくように十分な周知と役割分担の確認等が必要だと思っています。</p> <p>4月に向け準備をされていくのですが、それはスタートでありゴールではないと思います。今後も運営協議会を中心にセンターの運営について様々な視点で見守っていただきたい。子どもに関わる機関は複数あり、連携がうまくいくと子どもの後押しになり、連携が上手くいかなかったり、責任の所在があいまいになると連携がマイナスの要因になる可能性もある。ぜひ皆様にご協力いただき、このセンターが有益なものになるよう盛り立てていただきたい。この2年間、忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p>
並木座長	<p>それでは予定されていた議題は以上になります。他に検討事項ありますでしょうか。よろしいでしょうか。全ての議題が終わりましたので座長を下ろさせていただきます。委員の皆様のご協力ありがとうございました。</p>
司会	<p>並木座長におかれましては長時間にわたり進行役をありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>た。事務連絡に移ります。事務局より連絡、報告をお願いします。</p> <p>委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、検討委員会へのご協力ありがとうございました。お陰様で児童発達支援センターの開設に漕ぎつけることができました。センターの開所の際はオープニングセレモニーも検討しています。詳細が決まりしだいご案内を申し上げます。今後ともご協力、ご指導いただきますようお願いいたします。</p>
司会	<p>委員の皆様方には2年間にわり当検討委員会に忌憚のないご意見をいただきまして大変ありがとうございました。大変感謝申し上げます。最後に並木座長の方から閉会のご挨拶をお願いします。</p>
並木座長	<p>皆様大変お疲れ様でした。感想の方で思いは述べさせていただきました。今後4月の開設に向けて関係者の皆様は準備が大変かと思いますが、4月の開設に向けてどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
司会	<p>これをもちまして第2回設置検討委員会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____